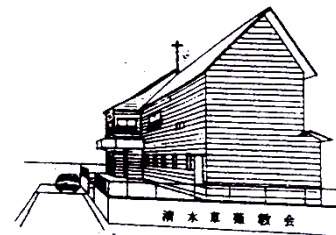


《今朝の聖書から》今回も2月の聖書日課『日毎の糧』を印刷しました。いろいろな日課が用意されていますが、可能なら、奴隷化の日課に従って聖書の全てを読み進めたいものです。けれども、これはとても困難なことで、“日課に従って聖書を読み進めている”と言ってくれる兄弟は少ないのではないかと思います。私は、ほぼ毎日、雨でなければ犬の散歩に出かけます。そこに犬がいるからです。そして散歩に行くのは良いことだと思っているからです。そこに聖書がある。そして開かれている、そして“読むのは良いことだ”と思っていれば、不可能なことでもないように思います。沢山の教会が毎週“今日の聖書箇所”を週報に記載しているのを見ても、教会が“聖書を毎日読むことは大切なこと”だと考えています。だんだん聖書が開かれなくなって、埃がたまってゆくことに警戒したいものです。そのようなところからは、悪しき霊は、まず離れていく準備を始めるのです。今朝の聖書箇所に目を留めましょう。私たちの住む世界は、“私たちの住んでいる世界は悪しき思いに満ちている”ことを知っています。すなわち“良いこと”も分かっているのです。パウロは“欲している善はしないで、欲していない悪は、これを行っている(ローマ3:8)”と言っています。キリストがまず、善を行ってくださったことを忘れないようにしましょう。『人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言で生きるものである』(マタイ4:4)とこたえられました。“あなたの神を試みてはならない(4:7)”、“主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ仕えよ(4:10)”という三つの答えの正しいことは、よく分かっているのです。そして“そんなに熱心な信仰者になる必要もなからう！。祈ればお腹がいっぱいになるわけでもなからうに！”という誘いも、この暗黒の世界(4:16)に住み、しかし、それに打ち勝ち、豊かな恵みを頂こうとしている私たちの所にやってきます。そこに“神の国、天国は近づいた(4:17)”という教えが与えられるのです。み言葉はみ言葉として別にあるのではなく、ともに、神の世界を体験するためにあるのです。毎日み言葉を頂く(読む)ことができますように。

週報

2009年 1月 25日



伝えよう 救い主を
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル商会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡県清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp